

## 鹿島小学校5年生における佐賀県学習状況調査の結果分析と今後の対応について

### ◇【教科に関する調査から】

#### 【国語】

- 県平均を上回るよい結果となっています。「話す・聞く」「読む」「言語事項」については県平均以上となっていますが、「書くこと」がやや低い結果となっています。
- 基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着してきていますので、それを生かした「書くこと」の底上げのために、指導方法の工夫・充実に取り組んでいきます。

#### 【社会】

- 県平均を上回るよい結果となっています。特に、技能・表現、知識・理解については高く、学習したことを確実に身につけていると考えています。
- 今後は、思考力・判断力のさらなる育成のために、日常の授業で自分の言葉や文章で表現できる力を身につけるような指導に力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

#### 【算数】

- 県平均を大きく上回るよい結果となっています。すべての領域、観点で良い結果となっています。これまでの、TTによる成果が現れていると考えています。
- 今後、これまで以上に興味・関心を高めるために、日常生活と関連した課題の提示やTT指導を核として、継続的な個別指導による基礎的・基本的な事項の確実な定着を図っていききたいと考えています。

#### 【理科】

- すべての領域・観点で県平均を上回るよい結果となっています。授業では、実験や観察を積極的に行うなど、実感を伴った理解が図られていると考えられます。
- 今後も、興味・関心を引き起こし、できるだけ体験学習を多く取り入れ、学んだこと、分かったことを確実に理解するために、実験後のデータの整理や結果から考えられることを自分なりに表現できる力を高めていきたいと考えています。

### ◇【児童の意識に関する調査から】

- 学習が楽しいと考えている教科の正答率は高く、学んだことがよく身についています。
- 興味があることに対しては進んで取り組むよい傾向にあります。
- 授業中分からないことは先生や友達に聞くなど何とかしようとする子どもが多いです。
- 学校での読書や家庭での読書時間が多く、よく本を読んでいます。
- 将来への希望（仕事）に対する割合がやや少なく、淡々と過ごしている傾向にあります。
- 朝食を食べている子どもの割合が県平均を大きく下回っています。
- 自宅での学習時間が県平均より少なく、塾などでの学習時間も少ないです。
- 学習に対する興味・関心が県より低くなっていて、例年この課題が続いています。